

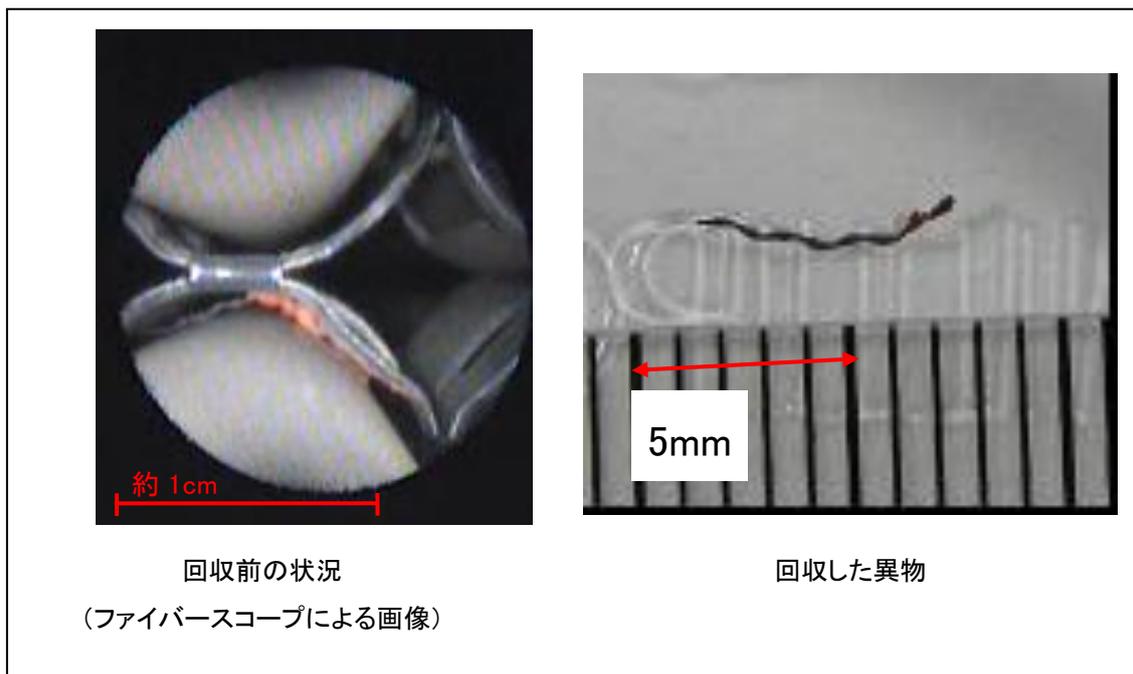
# 浜岡原子力発電所 5号機 使用済燃料貯蔵プール内での異物確認について(続報)

2014年9月29日

## ■今回お知らせする内容

<p>調査結果</p>	<p>当社は、2013年3月11日に使用済燃料貯蔵プールにおいて点検中の燃料集合体の内側に確認した異物について、調査を実施し燃料への影響評価をおこなってきました。(異物の確認については、<a href="#">2013年3月11日</a>お知らせ済み)</p> <p>確認した異物を回収し、外観観察、材質の分析、脆さ確認等をおこないました。</p> <p>その結果、鉄が主成分であり、切削片や資材片等の微小な金属屑であることが分かりました。</p>
<p>燃料への影響評価</p>	<p>異物は、脆さ確認の結果から燃料被覆管表面で連続的に振動して擦れることによる燃料被覆管破損(フレットング破損)を起こすことはなく、燃料の健全性に影響を与えるものではないと評価しました。</p> <p>なお、5号機は2011年5月14日に原子炉停止後の冷温停止操作過程において原子炉を含めた系統内に海水が混入しましたが、異物はこの事象によるものではないと評価しました。海水混入による燃料の健全性評価結果については、設備の点検評価結果と合わせ、改めてお知らせします。</p>
<p>その他</p>	<p>燃料集合体12体の内部の点検において確認された付着物について、代表的なもの3点を回収し、同様に調査および燃料への影響評価をおこないました。</p> <p>その結果、異物と同様の微小な金属屑であり、燃料の健全性へ影響を与えることはないと評価しました。</p>

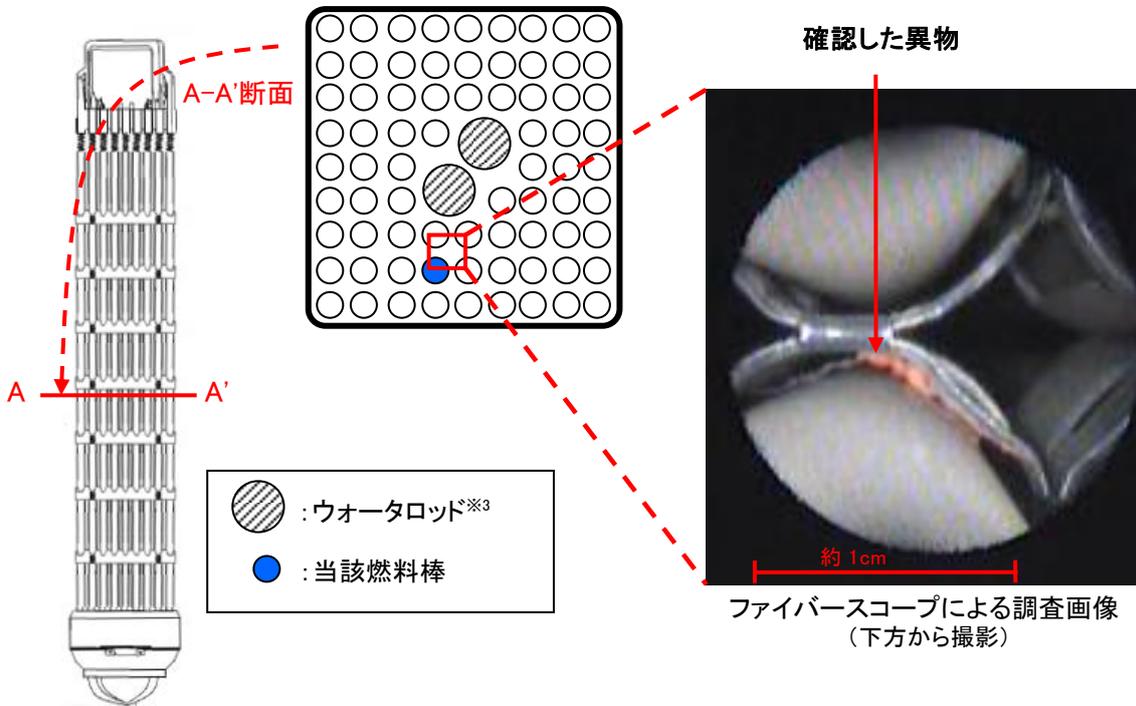
(異物・付着物の回収作業の開始については、[2014年4月15日](#)お知らせ済み)



■異物を確認したことのお知らせ内容

(2013年3月11日お知らせ済み)

発生号機	5号機 定期検査中(津波対策実施中) :改良型沸騰水型、定格電気出力138万キロワット
発生年月日	2013年3月11日(異物を確認した日)
状況	<p>当社は、5号機原子炉建屋5階(放射線管理区域内)の使用済燃料貯蔵プール<sup>※2</sup>において、燃料の点検をおこなっていたところ、1体の燃料集合体内部に長さ1cm程度の紐状の異物を確認しました。</p> <p>この点検は、2011年5月14日に原子炉停止後の冷温停止操作過程において発生した海水混入事象に伴う燃料の点検・健全性評価のため、ファイバースコープを用いて、詳細に点検をおこなっているものです。</p> <p>なお、ファイバースコープの画像およびこれまでのプール水の分析結果から、当該燃料棒からの放射性物質の漏えいはないと判断しています。</p> <p>この異物の取り扱いについては、今後、検討してまいります。</p>
放射能の影響	本事象は、放射性物質の漏えいに係わる事象ではありません。
お知らせ基準	「表 2-9 原子炉又は使用済燃料貯蔵プールで異物を発見したとき又は混入したとき。圧力抑制室等に異物を発見したとき。」に該当します。



- ※1 海水が混入した設備や燃料の点検および健全性評価に際し、専門家からご意見を聴くことを目的に当社が設置したものです。
- ※2 使用済燃料貯蔵プールは、使用済燃料集合体や使用済制御棒等を貯蔵するための設備です。
- ※3 燃料集合体の中央部に設けられている中空の管で、内部に冷却材を流すことにより燃料集合体の出力の最適化を図っています。

以上